学校番号	３１５

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ（体育科）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選古典Ｂ【改訂版】」（三省堂）						
副教材等	・「古文単語と一緒に学ぶこれからの古典文法【改訂版】」（尚文出版） ・「新版四訂 新訂総合国語便覧」（第一学習社） ・「新版二訂みるみる実力アップ古文２」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典としての古文・漢文を読む能力を２年次よりさらに養い、ものの見方、感じ方、考え方を広くしていきましょう。
・古典についての理解や関心をさらに深めるために語彙力や文法の力をしっかり身につけましょう。
・予習として本文をしっかり読み、わからない単語は辞書を使って意味を調べておきましょう。
・定期考査は日ごろからの学習をベースに、こつこつと取り組みをしてください。

２　学習の到達目標

・古典を読む力を進んで高めようとし、古典についての理解や関心を深めている
・思想や感情を的確にとらえ、その価値を考察して自分の考えを深めている
・伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身につけている

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確にとらえたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	発言(質問)、授業への取り組み状況、提出物の状況、面接、定期考査における論述など	発言、ワークシート、課題プリント、小テスト、ノート点検、レポート、定期考査など	発言、音読、小テスト、定期考査など

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c			
一学期	随筆と日記	教材 「ありがたきもの」(「枕草子」) 「和泉式部と清少納言」 (「紫式部日記」)	○	○	○		a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている b:各作品から読み取れる作者の心情・感性を理解している c:文学史的な基礎知識を正確な読解に結びつけている	a:行動の観察など b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など c:発言、ノート、定期考査など
	物語一	教材 「北山の垣間見」 (「源氏物語」) 「肝試し」(「大鏡」)	○	○			a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている b: 正確な読解を基にして、登場人物の行動や心情をとらえている	a:行動の観察など b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など
	史伝	教材 「乱世之姦雄」(「十八史略」) 「三往乃見」(「三国志」)		○	○		b:正確に読解し登場人物の行動や心情を捉えている。 c:重要な句型の意味用法について理解を深めている	b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など c:発言、ノート、定期考査など
二学期	和歌と俳諧・俳文	教材 「和歌十六首」 「近世俳諧」 「野ざらし紀行」	○	○			a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている b: 各作品の表現技法・特色と詠みこまれた情景や心情を理解している	a:行動の観察など b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など
	物語二	教材 「忠度の都落ち」 (「平家物語」)	○	○	○		a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、理解を深めている b:各場面の状況や登場人物、またその心情について正確にとらえている c:「源氏物語」の特質を理解し、その知識を正確な読解に結びつけている	a:行動の観察など b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など c:発言、ノート、定期考査など

	不思議な話	教材 「酒虫」(「聊斎志異」)	○		○		a:小説の読解を通して内容を正確につかみ、漢文に親しむ姿勢をもっている c:作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえている	a:行動の観察など c:発言、ノート、定期考査など
三学期	評論	教材 「文」(「無名草子」) 「行く春を」(「去来抄」)			○		c:さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げている	c:発言、ノート、定期考査など
	日本の漢詩文	教材 「送夏目漱石送之伊予」		○	○		b:書く詩文の内容を的確に理解している c:漢文学の伝来や日本に与えた影響について理解を深めている	b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など c:発言、ノート、定期考査など

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。